

令和 3 年度富谷市立日吉台小学校 学校関係者評価書

令和 4 年 2 月 22 日

学校関係者評価委員会

氏 名

氏 名

氏 名

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

○「支持的風土を持った学級集団をつくり、協働的な学びを推進する」

- ・コロナ過において協働的な学びの場としての学級集団作りは大変困難で、先生方も試行錯誤を重ねたと思う。授業風景では、タブレットや電子黒板を活用し、一人一人が考えることの授業へ取り組んでいて、先生方も子どもの意見を大切にし精力的に指導している姿に感心した。4人グループで互いに話し合ったり教え合ったりする姿が見られて、支え合うことの大切さが養われていた。学級単位で工夫を凝らした授業の実践で熱意と信念が感じられ、先生の強い意志に感動した。
- ・学年やクラスに応じてきめ細かな取り組みがなされている。考え方の多様性への対応なども十分に行われていると感じた。子どもたちはお互いに学び合う姿勢がより強くなっており、心の教育の充実も見られ協力し合う心も養われてきている。毎日の実践を大切にしながら、日々の積み重ねが子どもたちの豊かな将来につながっていくと思う。今後も目標達成に近づけるよう、全職員が教育活動に力を入れてほしい。
- ・コロナ禍の感染症対策により、学校生活場面でも制約が多く、子どもたちの学習場面に支障をきたすのではと懸念していたが、全児童にタブレットが支給され、先生方はうまく ICT を授業に活用し、学級全体で子どもたち一人一人の考えや意見を共有し、お互いに学び支え合うことができている、大変安心した。頭を突き合わせてお互いに意見を出し合い、触れ合いながら学び教え合うことは難しくなり、授業形態は以前とは変わってしまった部分もあるが、先生たちのご努力により、子どもたちは相手の話をよく聞き、その意見を尊重し、お互いを認め合う中で、自分もクラスの一員として頑張ろうとする姿を授業参観でも拝見することができた。またお忙しい中、学び合いの学習の拡大研修会も実施されているとお聞きし、さらに安心して学習できる環境作りや先生方の指導力向上に生かすように、学校全体で取り組んでいただいております、先生方には大変感謝している。

(2) 成果について

- ・社会を取り巻く環境の変化に対応した学校生活を送れるように、先生方が学習面だけでなく心のケアも同時に進め、不安なく授業に集中できたことが子どもたちの成長に結び付いた。休校中に家庭における学習に取り組もしっかりサポートしていただいております、家庭学習の習慣化と保護者への啓発もできていた。授業参観で感じたことは、学習態度が落ち着いていてよく話を聴いているので、思考を伴う問題も理解できている。

・短時間だったが授業参観ができ、子どもたちの様子を見ることができた。学習する態度も落ち着いており、積極的に学んでいる姿勢に感心した。お互いの意見を考えていることを話し聞き合う中で学びの力が広がり、数年かけて育ってきたものだと思う。学び合いを基本とした授業は今後も推進していただき、学習に向かう意識付けの教育指導をお願いする。

・子どもたちが積極的に自分の意見を発表する姿、真剣に相手の話を聞き、受け止めようとする姿、わからないと言えること、答えが間違っている場合でも共に考えようとする姿勢、そしてそれを受け止め意欲的に授業を推進し、支持的な温かい学級作りに邁進する先生方、どれも日吉台小学校ではあたり前の光景であり、子どもたちは自信を持って生き生きと学習に取り組んでいる。また子どもたち一人一人の個性や特性に応じて、少人数指導や教科担任制による授業への取り組み、さらには通級学級での指導など、個別的な対応についても学校全体で丁寧に取り組んでいる。

コロナの感染拡大により、学校を休まざるを得ない状況に対して、タブレットを活用し、オンラインで授業に参加することができており、素早い対応に大変感心した。その場面にて、グループでの話し合いにも参加しており、家庭においても学級での学び合いの場が提供されているのを拝見できた。これは決して当たり前のことでなく、担任の先生や学校の素晴らしい取り組みや工夫について高く評価させていただく。

いじめに対する月1回のアンケートだけでなく、保護者や家族からの相談を校長先生はじめ、学校全体で受け止めていただき迅速な対応を心掛けてもらっている。また担任の先生方も気になったことなど、毎日のように電話にて家庭に連絡しながら子どもたちや学校の様子を保護者と共有しようと努力されており、お忙しい中、頭の下がる思いである。

(3) 課題や改善を要する事項について

・保護者アンケートでは「一人一人に応じたきめ細やかな指導や工夫」「子どもたちの実態を把握し、分かりやすい授業を工夫」などの評価が低いが、コロナ禍で活動に制限があったことを保護者側に理解を求めるといふ工夫が必要ではないか。子ども一人一人に応じた指導を行っていくには、学校と保護者が連携し、家庭でも保護者にしっかり教育していただくことを促さないと、学校だけに頼ることで親としては無責任すぎると思う。地域との関わりは子供会を通じて触れ合う場を設けることも必要であるが、コロナ禍で活動ができない現状がある。小さな行事でも実施した時に、町内の人々と交流できる機会を考える必要がある。

・コロナ問題には今後も向き合っていかなければならない。数少ない行事となってもその時間を有効に使って子どもたちへ楽しい思い出作りに力をプラスしていただけるとうれしい。コロナとうまく共存しながら子どもたちが学校生活を楽しく送れるよう工夫してほしい。

・保護者アンケートの中で、評価の低かった「きめ細やかな指導」や「わかりやすい指導」「いじめの起きにくい環境作り」等については、学校ではしっかりと取り組んでもらっているが、コロナ禍で授業参観や学級懇談ができにくく、学校の様子を直接見聞きできなかったためと思われる。学校便りやホームページでの紹介もしているが、ICTを活用して保護者への周知の仕方をさらに工夫してもらえればと思う。年度末に向けて、オンラインでの保護者懇談会を企画されているとお聞きした。学校全体での地道な取り組みを、ぜひ保護者の皆様にも理解してほしいと考えている。

地域連携についても、コロナ禍では難しい状況にあるが、地域住民も私たち地域の学校として、常に学校のことは気にかけており、今後も学校より地域へと発信していただけるよ

う期待している。

学校からの帰宅後は友達と直接遊ぶことにも制限があり、ともするとオンラインゲームにはまってしまう子どももたくさんいる。しかしルールを守ればコロナ禍でも友達と楽しく、仲良く遊ぶことのできる良いツールなので、近年SNSの問題もあるが、学校でもルールを守った適切な遊び方のご指導を子どもたちだけでなく保護者の方へもお願いできればと思っている。

2 各領域等の評価

- 評価は、A：十分に達成している B：概ね達成している C：どちらかといえば達成していない D：ほとんど達成していない の4段階でお付けください。

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において学校への出入り制限、地域との連携行事中止となったが、学校行事も町内会で周知され、保護者地域への学校の動きが伝わっている。 ・毎月の学校だよりにより教育目標や指導方針、子どもたちの様子など適切に伝えている。HPも活用して紹介されているので、情報発信が積極的である。保護者の方もスムーズに対応できることが助かる。 ・学校便りや学年便りなど各種お便りを通じて学校での様子だけでなく、学校の教育目標や取り組み等も随時保護者へお知らせしている。コロナ禍で学校に来る機会は減ったが、ホームページへの学校便りの掲載等地域発信も定期的に行っていた。
	2 魅力ある学校	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や学校行事に楽しんで取り組む工夫がなされ、子どもたちは元気で生き生きしている。職員同士の意識も高く、課題に挑戦していく前向きな姿がすばらしい。 ・職員全体で教育課程の実施を的確に行い、意識の高さや取り組む姿勢などから子どもたちへの情熱を感じる。 ・教職員による自己評価だけでなく保護者への学校評価アンケートを実施し、その結果を丁寧に分析して改善点などあれば学校全体で検討し、学校関係者評価委員会での意見も取り入れながら、次年度の教育計画に反映するようにしていた。
	3 施設・設備	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で感染予防対策がきちんと整備され、安心して勉強ができる。タブレットの普及、電子黒板の設置など素早い対策がなされている。 ・各教室や廊下などもきちんと整っており、

		<p>気持ちがいい。子どもたちの安全を守るために遊具等の点検を実施していただき、不備がある場合は適切な対応をお願いする。飛沫対策の徹底もきちんとされており安心できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修工事にて体育館の照明が全てLED電球となり、大変明るく、すぐに点くのでとても便利になっている。また子どもたちが安心して学べるように毎日施設の消毒をもらっている。冬場に入り門扉の開閉ができないことから、不審者対応のためのチェーンを導入し、防犯対策を行っていた。
4 安全管理	B	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練や防災に関する学習を行い、日頃から事故や災害に対する指導が行われている。自動車事故を見聞きするが安全に登下校できるよう地域ぐるみで見守ることが大切になる。 交通安全指導の強化をお願いしたい。歩道の歩き方、自転車の乗り方については、保護者の協力も必要になってくるので、声掛けが必要。今後も安全に子どもたちが登下校できるように見守りたい。 危機管理マニュアルに基づいて、安全点検や避難訓練、研修などを実施されており、家庭や地域と連携して引き渡し訓練も実施している。県内での防球ネットの事故を受けて、直ちに点検や設置状況の確認を行った。
5 教職員の資質の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> 常に課題意識を持ち、それに取り組む姿勢がすばらしい。時代の流れに対応できる指導力アップに努めてほしい。 日頃より指導力向上に積極的に取り組んでおり、先生同士が互いに学び合うことで資質の向上が図られていると感じる。 オンライン研修や校内研修の他、先生方も個々に自己研鑽を日々行っているとお聞きした。授業参観の様子から、タブレットや電子黒板等ICT機器の活用について以前よりスムーズに全教室にて実施され、先生方のご努力を実感した。

	6 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの導入により学び合い学習が推進され、電子黒板との授業で新しい形が作られている。地域の方と触れ合う機会が限定される中で、リサイクル活動等で多少でも触れ合うことができよかった。 ・コロナの影響もあり地域サポーター活動も縮小されました。できる範囲内で必要であることをやっていくことが大切になってくると思う。オンライン授業は休んでいる子どもたちの励ましにもなるので有効に取り入れていただきたい。 ・感染症対策により外部の支援者が入りにくい状況ではあったが、米作り等のスクールボランティアやエネルギー教室での外部講師の活用など、授業では体験できない学習を行うことができていた。
教育課程	1 確かな学力	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各担任の先生がIT機器の活用で意欲的に授業を進めていた。個別指導の徹底には行き届かない部分もあったが、一人一人に目を向けることは人的パワーも時間も必要で指導方法の工夫改善に期待している。 ・アンケート結果の数字が学力低下と必ずしも結び付くものではないと思う。意欲的に学べるよう内容も工夫されて指導されている。家庭学習の習慣化が重要になってくると思う。親が子どもに目をかけてやることも学力アップにつながり、結果に現れると思う。 ・協働的な学び合い学習により、子どもたちは楽しく意欲的に、自信をもって学習に取り組むことで、学習本来の学ぶ楽しさを知り、その継続学習が学力向上へとつながっていると感じた。少人数学習や通級指導など、個々への対応もしっかり行っている。
	2 豊かな心身	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の中止や規模縮小で子どもたちの楽しみが半減したことは仕方のないことだと思う。これまで取り組んできた支持的風土を持った学級集団作りは、学習面だけでなく相手や自分自身を大切にす心の教育にもつながっていると感じた。 ・学び合い活動から相手を思いやる気持ちが自然に身に付いてきたと感じ取れる。明るく元気な子供が多く、きちんと挨拶をしてくれる。豊かな心を持っているからできることだと実感している。

		<ul style="list-style-type: none"> ・道徳が教科として位置付けられ、日吉台小学校でも道徳教育の充実が図られている。子どもたちの健全な成長を促し、いじめなどの問題も根本的に解決できるよう期待している。また学習場面での支持的な学び合い学習が子どもたちの自他の肯定的な受け入れにつながっているように感じている。
3 特別活動	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の中止や縮小のため、自主的に活動できる機会が少なく子どもたちにとって残念であった。今後は行事のあり方を検討し、実施方法等の工夫が必要だと思う。 ・コロナの影響で学校行事も変更や中止などで大変な1年だったと思います。学校側の判断で無理のないよう取り組んでほしい。時間や内容が縮小されても楽しい時間を過ごせるように配慮していただきたい。 ・学年毎のミニ運動会や学芸会、楽しみにしていた修学旅行や校外学習の実施など、安全面・感染症対策を徹底して実施し、子どもたちのあふれる笑顔や真剣に取り組む表情に感動した。コロナ禍で制約されることは続くと思うが、工夫して実施してもらおうお願いしたい。
4 生徒指導・教育相談	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめに発展しそうな事案に早急に取り組んでいることを評価する。子どもたちの悩み事に個別に対応して、またスクールカウンセラーの活用で適切なアドバイスをして安心できる環境ができている。 ・安心して相談できる環境にあると思う。担任と保護者の信頼関係ができているから問題解決へつながっていき、迅速に対応していただいていると思う。保護者と連携を強化して相談の充実を図ってほしい。 ・個々の特性や課題に応じて、きめ細かく対応してもらっている。また医療機関やスクールカウンセラーとも連携しながら実施しており、学校をあげて取り組まれている。
5 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「振り返り授業」実施の様子をうかがい、自分が何を学んでどう行動したか見つめ直す大切な時間を養うすばらしい授業に感服した。地域ボランティア活動は、今後の状況を判断して進めてほしい。

			<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流も以前ほど活発な活動はできなかつたと思う。状況に応じて行事の内容変更や中止などを考慮していただけたら、できる範囲内で地域との関わりは継続してほしい。 ・コロナ禍により、地域ボランティア等の積極的な活用はできにくかつたと思うが、次年度は改めて受け入れ方など検討し、地域交流など計画してもらえればと期待している。
課題教育	1 環境教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全校での清掃実施や整理整頓が行き届いており、学習に集中できる環境が、整っている。 ・リサイクル活動や省エネ対策については、引き続き積極的に取り組んでほしい。 ・いつ学校にお邪魔しても教室や廊下など、きれいに整理整頓されており、子どもたちのロッカーも自分できれいに使うように、学級担任の先生が指導されていた。本来家庭で培うことが大切ではあるが、日吉台小スタンダードにて、準備や片付け、清掃の仕方も提示しており、家庭でも取り組んでいただきたいと思う。
	2 情報教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会で子どもたち同士が情報を共有しながら学習できるタブレットの活用が、自分の考えを表現できる機会となっていると思う。スマホ等の正しい利用方法や時間の制約などを家庭に適切にアドバイスすることが今後必要となる。 ・タブレットを使用する授業があつたが、操作技能を身に付けて有効に活用してほしい。オンライン授業も積極的に取り入れて雰囲気を楽しむ授業になると思う。 ・全児童にタブレットが配布されており、使い方はもちろん、適切な活用の仕方も教えていただいている。また情報の取り扱いやモラルについても、引き続き学習できるようにお願いしたい。
	3 特別支援教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級は障害や個々の特性に応じて教育支援が行われている。課題がある子どもについて、必要な支援を保護者とよく話し合われている。 ・保護者と共通理解しながら計画を立て、指導されている。障害に対する理解を含め、

		<p>自立への基礎作りをしていただき、子どもの成長を見守ってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級にて、個々の特性に応じた学習の機会が提供されており、在籍学級との交流も盛んに行われている。また特別な配慮を必要としている児童に対して、通級学級での指導も保護者の理解を得ながら、丁寧に対応しており、素晴らしいと思う。
4 図書館教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・読書をする子どもたちが増えたことは、大変良いことで、本から学ぶ知識の大切さが分かると思う。図書室がよく整備され、貸し出し冊数が増加して素晴らしい環境を整えてくださり感謝する。 ・活字を読むことは大切。習慣付けるためにも積極的な読書の推進を図ってほしい。 ・日吉台小学校の子どもたちは本を読むのが大好きで、図書の貸し出し数も多いと伺っている。図書館は活用しやすいように整理整頓されており、授業参観では熱心に本を探し、集中して本を読んでいる姿を拝見することができた。
5 健康教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策で毎日の検温や体調確認など、子どもたちや家庭への意識付けが十分行われた。「ルルブル」の大切さが浸透し、家庭での食生活の大切さが理解された。 ・家庭での協力が必要になる。生活習慣の指導をいただきながら保護者にも理解してもらい、学校と家庭の両方から子どもの健康管理に配慮してほしい。 ・生活上で必須となった感染症対策は子どもたちも徹底しており、しっかり身に付いていた。食育の「ルルブル」は、学校便りにも毎回記載されており、保護者に対する啓発活動にも取り組んでいた。日吉台小スタンダードの実施についても、ぜひご家庭で取り組んでもらいたい。
6 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合う学習の中から知り、子どもたち同士の結び付きが強くなり、自主的な活動に結び付いた。相手を思いやり支え合うことの大切さを知ることができ、自分を大切にすることも学べたと思う。 ・学年を超えた人間関係は、たてわり活動の

		<p>中から生まれてくる。個性を重視しながら子どもたちの自主的な活動を期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過で活動が制限され、この夏はプールもなかったが、年間を通じてなわとびに取り組み、子どもたちはなわとび大会を楽しみにしている。体力増進だけでなく、クラスごとの長縄への取り組みは、みんなで協力しながら心の成長も促していると感じている。
地域との連携について	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過で町内会行事が中止となり、交流はできなかった。今後の交流のあり方を検討する必要がある。子どもたちが地域の一員としての自覚や地域で役立っている実感をどう高めるか、地域と連携した活動を見直す必要がある。 ・状況に応じて地域と連携した活動は継続してほしい。行事や内容の見直しをするいい機会でもあるので検討願いたい。 ・コロナ禍のため外部の人材を活用することは制限もあり、学校独自ではできない面もあったかと思う。ぜひ来年は感染症対策を講じた上で、積極的な活用ができることを願っている。
いじめ問題への取り組み	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートの実施結果を見ると、いじめや友達関係の悩みに素早く対応しているに76%が「よくあてはまる」と回答しており、きちんと対応していると思う。 ・定期的なアンケート調査は必要。保護者との情報交換を密にして、日々の生活の中での変化を早く見つけて対応できるよう、情報収集に努めてほしい。 ・子どもたちへの月1回のいじめアンケートの実施のほか、年2回保護者へも拡大して取り組んでもらっている。デリケートな問題に学校全体で対応しており、安心できる取り組み方です。今後もいじめにつながるような小さな訴えや行動を見逃さず、迅速に対応していただければと思う。

